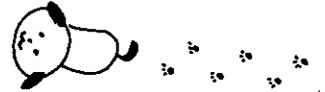


怠けているわけじゃないはず”...

学校のことを考えると、ドーンと気持ちが重くなる。なぜだろう？ 自分ことなのに、からまった糸のように、うまく言葉にできない。励まされるたび、応えられない自分に、罪悪感や申し訳なさ、自責の気持ちがわいてくる。重たい気持ちが、不安やあせり、時に怒りへと姿を変える...
このようなこと、ありませんか？



決して、怠けているわけじゃないはず”... と思います。

自分の命や心を守るために、いったん立ち止まるようにと体が SOS のサインを出しているとも考えられます。何をどれだけがんばれるかの“ものさし”は、ひとりひとり違っていますから、もう十分にがんばってきた今なのかもしれません。

脳の慢性的な疲労なのかも？

自分でも気づかないうちに、いろいろなストレス反応がくり返され、蓄積されていくことがあります。体を、ちょうどよい加減に回復させる機能が乱れてしまします。

感じ取る力がとても強いのかも？

相手の感情がわかりすぎて自分のことのように感じ取ってしまいます。気がつかたり、何とかしなければ... と思ったりで疲れてしまいがちです。

不安感の度合いが とても大きいのかも？

自分ではコントロールしきれないほどの強い不安感がわいてきて、とてもとても苦しいのかもしれません...

感覚のちがいかも？

音や光、におい、食感など、過敏なものがひとつでもあれば、大きな苦痛となります。

教室の圧迫感、ひととの安心できる距離感、制服の肌感覚... あたり前とされているものに苦痛を感じていることがあります...

聞き取ることの困難さがあるのかも？ (LiD)

聞こえているのに、内容を理解できない。

聞きまちがいが多し...
聞き返しが多し...
会話が かみ合わない...
でも、悪気はないのです！

読み書きのペース 学び方のちがいかも？

文字の形を記憶したり、文字の音を聞いて、その形を想起したり... などの読み書きが流ちょうにできず、ずっと困っていたのかもしれません。

想像力の弱さからかも？

集団の中で、周りの状況をくみ取るのが苦手なため、常に分かりづらい不安を感じていることがあります。

柔軟な発想に、困難さがあるとき、関心がもてない学習には、どうしてもやる気を出せずにいることもあります。

悪気はないのです。

脳の中がいつも忙しいのかも？

周りの声には、すぐ反応してしまう。
周りの行動には、すぐ巻き込まれてしまう
思い立ったら、もうすでに体が動いている
感じたまま言葉にしてしまう。

アンテナが常にピリピリ張っている。
“いったん考えてから..” ができにくい
脳の忙しさなのかも... っらいね。

じんの中に、まだ整理されていないものがあるのかも？

「今、ここ」に集中できないほど、脳の中の作業台に、整理されていないままのものがあるのかも...

必死で今まで何とかやってきた!! ということ



相談室でお待ちしています
スクールカウンセラー さとうともこ

